

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 20 年 7 月 10 日 (2008.7.10)

【公表番号】特表 2008-507758 (P2008-507758A)
 【公表日】平成 20 年 3 月 13 日 (2008.3.13)
 【年通号数】公開・登録公報 2008-010
 【出願番号】特願 2007-522523 (P2007-522523)
 【国際特許分類】

G 0 6 K 7/10 (2006.01)

【F I】

G 0 6 K 7/10 B

【手続補正書】

【提出日】平成 20 年 5 月 23 日 (2008.5.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

相互に直交する方向に沿って延びているインディシア全体に亘る走査においてレーザビームを掃引することによって、該インディシアを電気光学的に読み取るためのシステムにおける光学アセンブリであって、

付随する所望されないレーザ強度変調とともに該インディシアが読み取られる作動範囲を拡張するための非対称的な光学素子であって、該素子は、光学軸と、該レーザビームを該光学軸に沿った複数の焦点に合わせるための一対のレンズ表面とを有し、該レンズ表面は、該光学軸と交差する線であって、該方向のうちの一つに沿って延びている長さの寸法を有する線に沿って接触し、該素子は、該方向のうちのもう一つに沿って延びている幅の寸法であって、該長さの寸法とは独立な寸法を有している、非対称的な光学素子と、

該作動範囲の付随した低減とともに、該所望されないレーザ強度変調を低減させるための開口絞りであって、該開口絞りは、光学開口部と、該インディシアが延びている該方向の両方に沿って可変の寸法を有する該光学開口部を形成する境界に沿って該光学開口部を境界付ける支持部とを含み、該光学開口部は、該境界に沿って間隔をおかれた複数の光通過領域を有し、該支持部は、該境界に沿って、該複数の光通過領域間に光遮断領域を有する、開口絞りと

を備える、アセンブリ。

【請求項 2】

前記素子および前記開口絞りは、ワンピース構造である、請求項 1 に記載のアセンブリ。

【請求項 3】

前記素子の前記レンズ表面の各々は、平面である、請求項 1 に記載のアセンブリ。

【請求項 4】

前記素子は、非対称の断面を有するように前記レーザビームを光学的に改変するための円筒形の入射表面を有する、請求項 1 に記載のアセンブリ。

【請求項 5】

前記支持部は、前記境界に沿って連続的に配置された複数の光遮断領域を有し、各光遮断領域は、光通過領域の対の間に配置されている、請求項 1 に記載のアセンブリ。

【請求項 6】

視野全体に亘り、相互に直交する方向に沿って延びているインディシアから拡散されたレーザ光をイメージングすることによって、該インディシアを電気光学的に読み取るためのシステムにおける光学アセンブリであって、

付随する所望されないレーザ強度変調とともに該インディシアが読み取られる焦点深度を拡張するための非対称的な光学素子であって、該素子は、光学軸と、該光学軸に沿った複数のイメージポイントから該レーザ光をイメージングするための一対のレンズ表面とを有し、該レンズ表面は、該光学軸と交差する線であって、該方向のうちの一つに沿って延びている長さの寸法を有する線に沿って接触し、該素子は、該方向のうちのもう一つに沿って延びている幅の寸法であって、該長さの方向とは独立な寸法を有している、非対称的な光学素子と、

該焦点深度の付随した低減とともに、該所望されないレーザ強度変調を低減させるための開口絞りであって、該開口絞りは、光学開口部と、該インディシアが延びている該方向の両方に沿って可変の寸法を有する該光学開口部を形成する境界に沿って該光学開口部を境界付ける支持部とを含み、該光学開口部は、該境界に沿って間隔をおかれた複数の光通過領域を有し、該支持部は、該境界に沿って、該複数の光通過領域間における光遮断領域を有する、開口絞りと

を備える、アセンブリ。

【請求項 7】

前記素子および前記開口絞りは、ワンピース構造である、請求項 6 に記載のアセンブリ。

【請求項 8】

前記素子の前記レンズ表面の各々は、平面である、請求項 6 に記載のアセンブリ。

【請求項 9】

前記支持部は、前記境界に沿って連続的に配置された複数の光遮断領域を有し、各光遮断領域は、光通過領域の対の間に配置されている、請求項 6 に記載のアセンブリ。